



No. 10-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成28年度第5回

一般国道1号  
み な く ち  
水 口 道 路

【再評価】

平成29年1月  
近畿地方整備局

# 目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

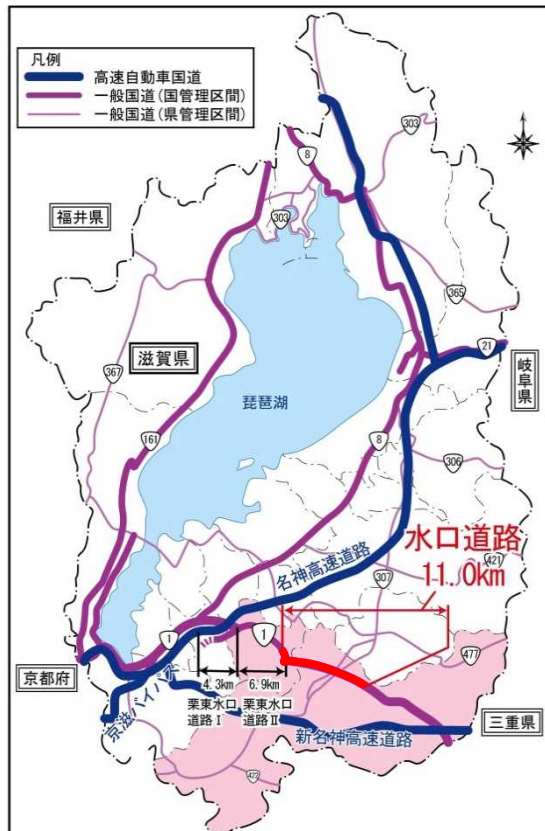
# 事業全体図

## 一般国道1号 水口道路

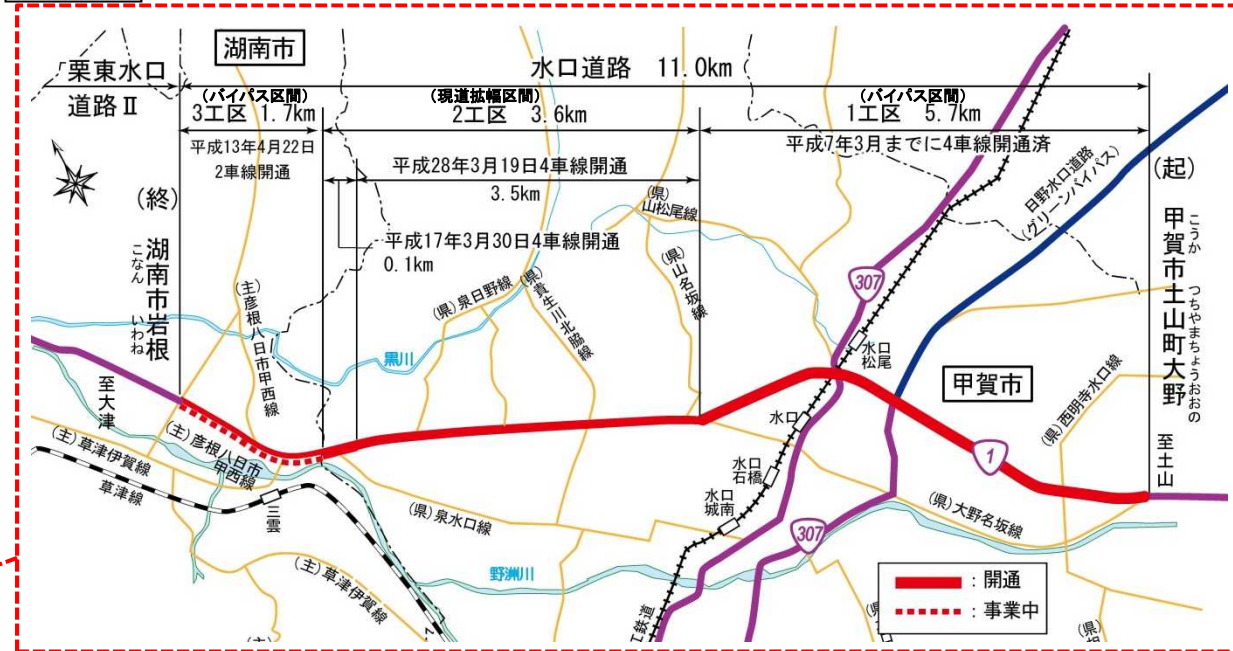
一般国道1号は、東京都中央区を起点とし、滋賀県甲賀市・滋賀県湖南市を経て、大阪府大阪市北区に至る総延長約800kmの主要幹線道路です。

水口道路は、一般国道1号の甲賀市内及び湖南市内の交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした延長11.0kmの道路です。

広域図



位置図



■今回B/C算定する理由

○事業展開の変化がある

(事業期間の延長が10%以上(約10.2%延長))

# 1. 事業の概要

## 一般国道1号 水口道路

### 事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保

### 事業の概要、進捗状況

区間	(起)滋賀県甲賀市土山町大野 (終)滋賀県湖南市岩根
道路延長	11.0km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
標準幅員	20.5~36.5m
計画交通量	30,900台/日
全体事業費	400億円
事業化	昭和41年度(1工区) 昭和63年度(2工区、3工区)
都市計画決定	昭和61年5月(2工区) 平成3年12月(3工区)
用地着手	昭和45年度
工事着手	昭和46年度
開通延長	9.3km(4車線開通) 1.7km(2車線開通)
事業進捗率	約93%(平成28年3月末現在)
用地取得率	100%(面積ベース、同上)

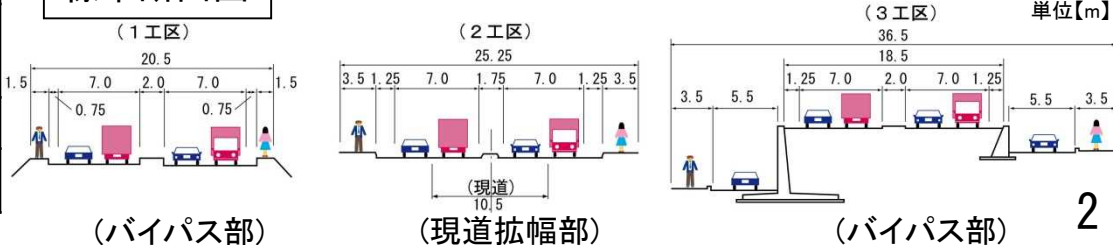
### 位置図



### 写真



### 標準断面図

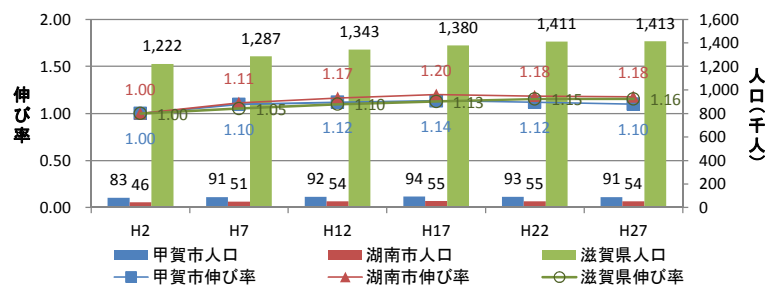


# 2. 事業の必要性に関する視点

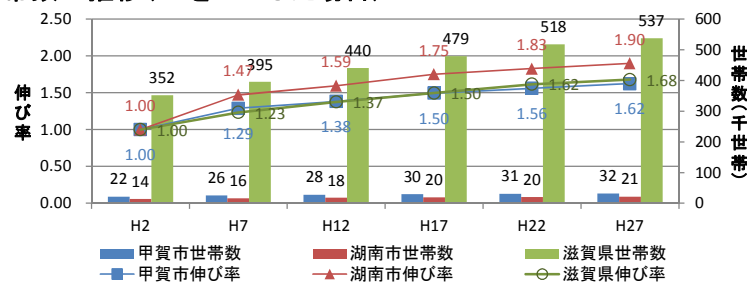
## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 水口道路沿線の滋賀県甲賀市・滋賀県湖南市は、近年、人口は減少傾向であるが、世帯数及び自動車保有台数は増加傾向。
- 隣接する栗東水口道路Ⅱ及び栗東水口道路Ⅰの一部区間は平成27年度に2車線で開通。

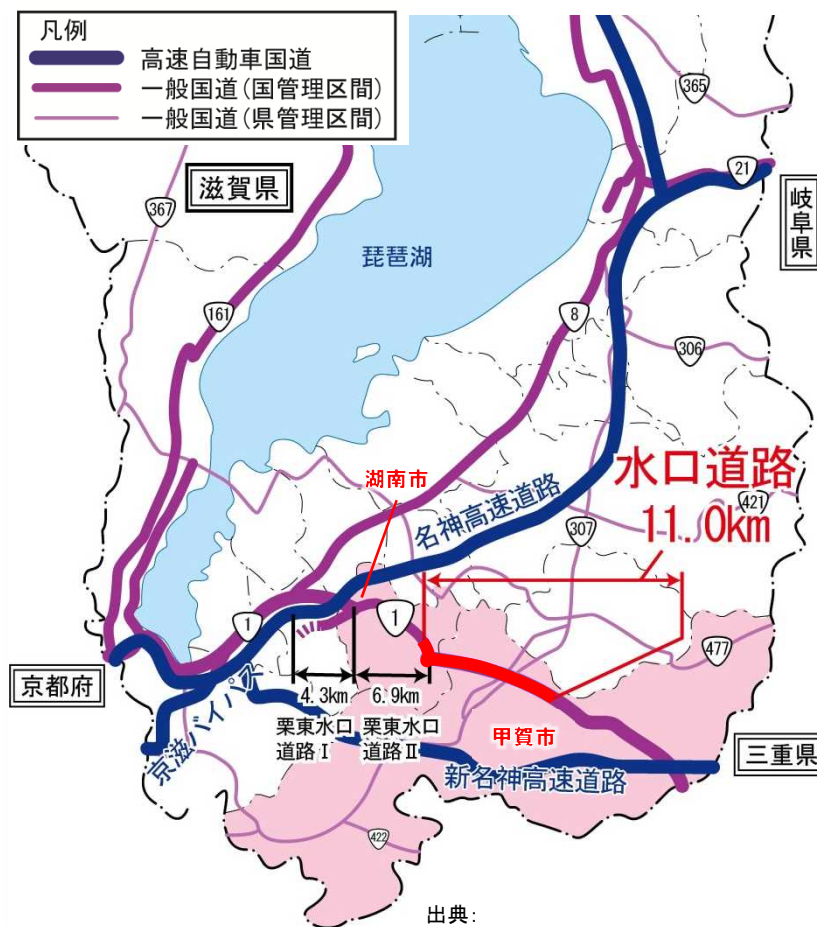
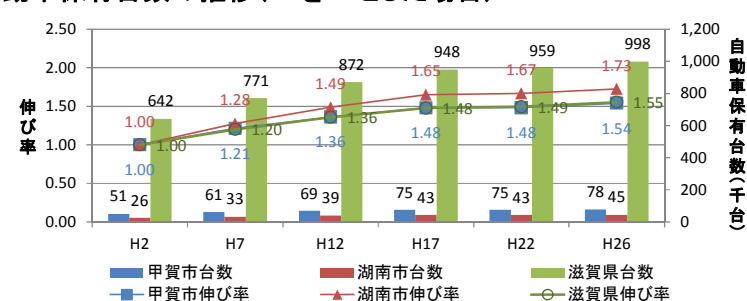
▼人口の推移(H2を1.0とした場合)



▼世帯数の推移(H2を1.0とした場合)



▼自動車保有台数の推移(H2を1.0とした場合)



出典：  
 人口・世帯数 国勢調査、国勢調査速報値  
 自動車保有台数 自動車登録情報協会、滋賀県統計書

# 2. 事業の必要性に関する視点

一般国道1号 水口道路

## 2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

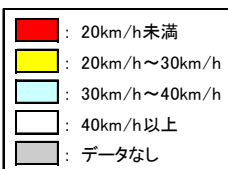
- 水口道路2工区の4車線開通により、2工区は旅行速度が上昇。
- 3工区についても旅行速度が低い区間があるが、4車線化することで同様の効果が期待される。

### ▼一般国道1号の交通混雑の状況

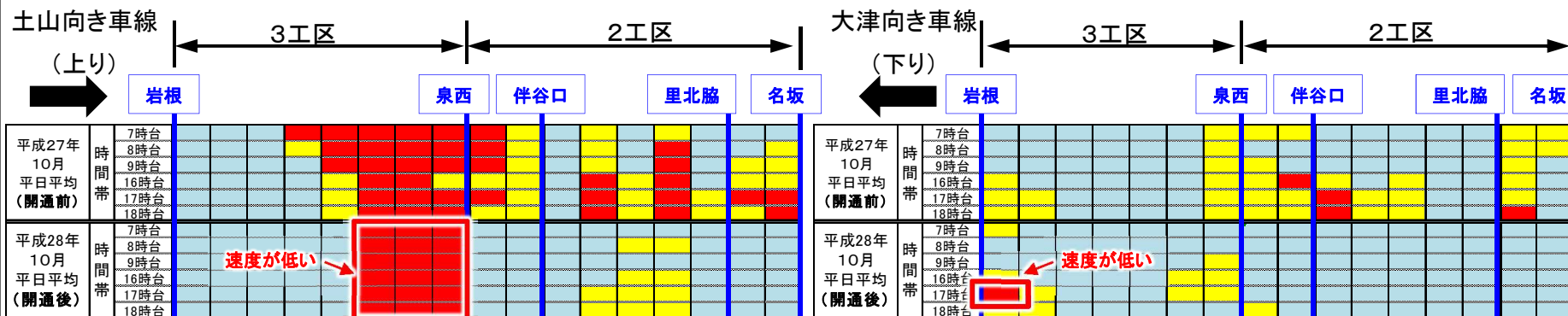


撮影日 平成28年5月20日(金)

撮影日 平成28年5月20日(金)



### ▼水口道路2工区・3工区の時間帯別速度



※出典:民間プローブデータ

# 2. 事業の必要性に関する視点

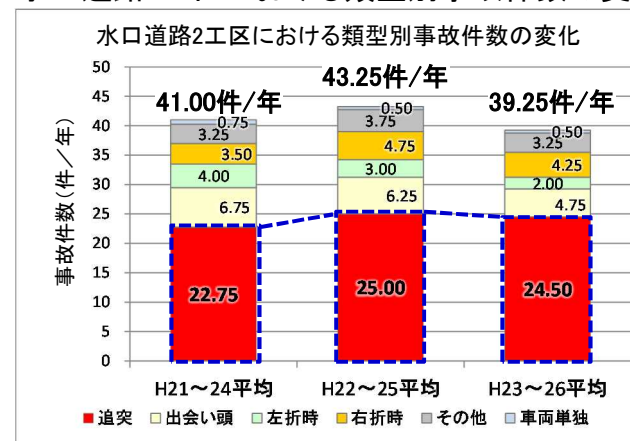
一般国道1号 水口道路

## 2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

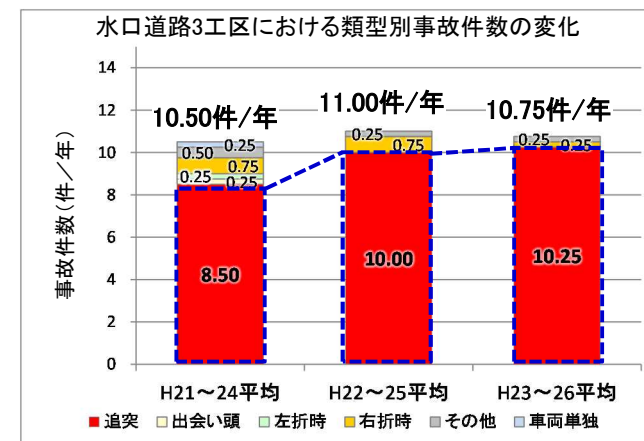
- 水口道路2工区は年平均約40件 (H23~H26) の事故が発生しているが、平成27年度に4車線開通しており、事故減少が期待される。
- 3工区についても4車線化することで同様の効果が期待される。



▼水口道路2工区における類型別事故件数の変化



▼水口道路3工区における類型別事故件数の変化



▼2工区の状況



撮影日 平成25年9月5日(木)



撮影日 平成28年5月20日(金)

平成27年度に4車線開通しており、交通混雑が緩和したため、事故減少が期待される。

出典:イタルダデータ

## 2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道1号 水口道路

### 3) 事業の投資効果

#### ■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

#### ■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

#### ■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	1,261億円	123億円	30億円	1,414億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	783億円		52億円	834億円	

#### ■ 算出条件等

基準年 : 平成28年度  
 検討期間 : 50年間  
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%  
 交通量の推計時点 : 平成42年度  
 交通量の推計手法 : 平成17年度道路交通センサス統合推計モデル【第二段階】  
 適用した費用便益分析マニュアル : 平成20年11月版  
 事業費 : 400億円  
 維持管理費 : 28百万円/km  
 作成主体 : 近畿地方整備局

#### ■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	275億円	20億円	4億円	299億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	22億円		20億円	43億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している



## 2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道1号 水口道路

### 4) 地域における計画等

#### ■地域計画等への位置付け

みなくち

水口道路は、下記の計画に位置付けられている。

- ◆滋賀県基本構想(滋賀県:H27.3)
- ◆滋賀県道路整備マスタープラン(第2次)(滋賀県:H24.3)
- ◆滋賀県道路整備アクションプログラム2013(滋賀県:H25.6)
- ◆こなん湖南市地域防災計画(湖南市:H18.10)
- ◆こなん湖南市総合計画(湖南市:H28.4)
- ◆こうか甲賀市総合計画後期基本計画(甲賀市:H25.3)
- ◆こうか甲賀市地域防災計画(甲賀市:H28.5)

#### ■これまでの経緯

- ・平成6年7月 こうか こなん 地域高規格道路甲賀湖南道路整備促進期成同盟会 設立
- ・構成メンバー こうか こなん りっとう 甲賀市長、湖南市長、栗東市長

(最近の動向)

- ・平成28年8月 こうか こなん 国土交通省に対し、甲賀湖南道路の早期整備を要望

※甲賀湖南道路とは、滋賀県甲賀市土山町から栗東市小野に至る延長約30kmの路線であり、平成10年12月に

地域高規格道路の計画路線に指定されている道路である。

水口道路は甲賀湖南道路の一部を構成している。

# 事業の進捗の見込みの視点

一般国道1号 水口道路

## 1) 事業の進捗状況

### 平成28年度事業内容

- ・現在、調査設計を実施しています。

### 進捗状況

- ・平成27年度末までの進捗は、用地進捗率100%（面積ベース）、事業進捗率約93%（事業費ベース）です。

### 事業進捗上の課題

- ・大きな課題はありません。

## 2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。

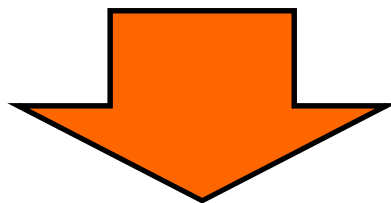


区間	未開通区間		開通済区間		
用地	用地進捗率100%				
	用地取得済み				
工事	調査・設計推進	H17.3.30開通 (4車線)	H28.3.19開通 (4車線)	H5.10.26開通 (4車線)	H7.3.27開通 (4車線)
	H13.4.22開通 (2車線)				

※用地取得率はH28年3月末時点の面積ベース。

## 4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

みなくち  
水口道路は、一般国道1号の交通混雑の緩和や交通安全の確保を目的に、周辺の土地利用状況等を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺の環境保全を図りながら、引き続き事業を推進していきます。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

### ■滋賀県知事

平成29年1月16日 滋高幹 第1号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道1号水口道路については、対応方針(原案)(案)で【事業継続】とされているとおり、事業効果の早期発現に向けてさらなる整備促進をお願いしたい。

地元も交通混雑、交通事故等の課題解消のため、当該事業の早期完成を強く望んでおり、一層の事業推進にあたって必要な予算の確保と徹底したコスト縮減に取り組んで頂きたい。

なお、滋賀県としても事業促進に最大限の努力をしてまいります。

### ◆沿線市町村の期待

#### ■甲賀市長

(期待する効果)

##### ①企業立地

- ・ 水口道路の整備に伴い、工業団地の開発が進み、企業が67社進出したこと等から、製造品出荷額は県内1位であり、また雇用増加にもつながり、地域の活性化が図られている。水口道路の事業推進を図ることで、さらに工業団地の開発が進み、企業進出が見込まれ、雇用の増加が期待される。

##### ②商業施設立地

- ・ 水口道路の整備に伴い、沿道での大規模小売店舗立地法に基づく届出申請(新設のみ)が平成10年～平成27年に8件(店舗面積約40,000m<sup>2</sup>)あり、地域活性化が図られている。水口道路の事業推進を図ることで、沿道へのさらなる商業施設の進出と雇用の増加が期待される。

(取り組み)

##### ①企業立地

- ・ 甲賀市では、「甲賀市固定資産税特別措置条例」による企業立地支援・優遇制度として、製造業等の企業の投資に対して固定資産税の優遇措置を実施している。
- ・ 物流の効率化を図り、さらなる企業立地の推進を図るべく水口道路3工区の早期4車線化を期待する。

##### ②商業施設立地

- ・ 甲賀市では、「甲賀市総合計画(平成25年3月策定)」に基づき市内就労率を目標に掲げ、雇用の維持と創出を目指して若年者への就職説明会や女性への就職相談会を行っている。
- ・ 商業施設の立地が雇用の増加につながることから、水口道路3工区の早期4車線化を期待する。

### ◆沿線市町村の期待

#### ■湖南省長

(期待する効果)

##### ①地域の活性化

・水口道路は、栗東水口道路とあわせて整備されることで国道1号のネットワークが形成され、本市で計画している「内陸型総合物流ターミナル」へのアクセス道路となることから、さらなる地域の活性化につながると期待される。

(取り組み)

##### ①地域の活性化

・湖南省では、物流拠点整備の一環として「内陸型総合物流ターミナル整備構想(平成27年3月策定)」を掲げ、国際物流の拠点を整備することで、効果的な集配荷や近隣施設(高速道路や空港・港湾等)の積極的な活用をめざしている。

・また、「湖南省総合計画(平成28年3月策定)」に基づき、道路ネットワークの整備により高まる立地条件を最大限に生かし、市内外から人々を引きつけて交流人口を拡大し、活気あるまちづくりをめざしている。

・そのため、物流拠点へのアクセス道路や道路ネットワーク整備という観点から水口道路3工区の早期4車線化を期待する。

# 5. 対応方針(原案)

一般国道1号 水口道路

## 1. 事業の必要性等に関する視点

- ・水口道路2工区の4車線開通により、2工区は旅行速度が上昇。3工区についても旅行速度が低い区間があるが、4車線化することで同様の効果が期待される。
- ・一般国道1号水口道路未整備区間では追突事故が多発している。水口道路の整備により、事故の減少が期待される。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.7、残事業で7.0。

## 2. 事業進捗の見込みの視点

- ・水口道路は、これまでに1工区5.7kmを4車線開通、2工区3.6kmを4車線開通、3工区1.7kmを2車線開通している。
- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

水口道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みに関する視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

**事業継続**



No. 10-2  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成28年度第5回

一般国道1号  
みなくち  
水口道路  
【再評価】

平成29年1月  
近畿地方整備局



様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道1号 水口道路
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.7 (経済的純現在価値 (B-C) = 580億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.3%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 7.0 (経済的純現在価値 (B-C) = 256億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 40.9%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 5894万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 63万人・時間/年 (15478万人・時間/年⇒15415万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について : 水口道路 (県)大野名坂線 一般国道307号 (主)草津伊賀線 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 39万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 2割削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	並行区間に、平成22年度道路交通センサスの混雑時旅行速度が20m/h未満の区間が存在し、旅行速度の改善が期待される。 (旧国道1号 (県道草津伊賀線) の草津伊賀線交差点～彦根八日市甲西線交差点間 上りが15.1km/h)
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	並行区間に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。 (湖南市コミュニティバスの甲西南線 (妙感寺ルート) が、旧国道1号をルートとしている。)
		<input type="checkbox"/> 新幹線もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上			
<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する			

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り		
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる		水口道路は、平成10年6月に路線指定された地域高規格道路「甲賀湖南道路」の一部を構成している。
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
	<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
	<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される		
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		水口道路の4車線開通により、甲賀市の名坂交差点から三次医療施設の済生会病院へのアクセス向上が見込まれる。 名坂交差点～済生会病院 (所要時間：38分⇒35分)

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	水口道路は、第1次緊急輸送道路に位置づけられている。	
	<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する		
	<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）		
	<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する		
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：3016.44t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：水口道路（県）大野名坂線 一般国道307号（主）草津伊賀線 排出削減量：4.92t/年、排出削減率：1割削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：水口道路（県）大野名坂線 一般国道307号（主）草津伊賀線 排出削減量：0.3t/年、排出削減率：1割削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	滋賀県、栗東市、湖南市、甲賀市の計画・構想において、他機関との連携プログラムが位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	大規模小売店舗の進出など、地域経済の活性化が期待される。

(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・ その他の別
一般国道1号	水口道路	L=11km	地高	現拡・BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
24,600	4車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成28年度		
単純合計	385億円	141億円	526億円
うち残事業分	25億円	56億円	81億円
基準年における 現在価値 (C)	783億円	52億円	834億円
うち残事業分	22億円	20億円	43億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成28年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	72億円	6.7億円	1.8億円	81億円
基準年における 現在価値 (B)	1261億円	123億円	30億円	1414億円
うち残事業分	275億円	20億円	4.4億円	299億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	580億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.3%
費用便益比（残事業）	7.0
経済的純現在価値（残事業）	256億円
経済的内部収益率（残事業）	40.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	24,600台/日	±10%	1.3~2.1
事業費	25億円	±10%	1.7~1.7
事業期間	4年	±20%	1.6~1.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	27,000台/日	±10%	5.5~8.7
事業費	25億円	±10%	6.6~7.4
事業期間	4年	±20%	6.9~7.1

# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：水口道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (11.0km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	23,800	24,600	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	9	18	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	40.25	84.25	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	(県)大野名坂線 (4.1km)	交通量	[台/日]	22,900	12,600
		走行時間	[分]	12	8
		走行時間費用	[億円/年]	48.52	16.48
	一般国道307号 (1.2km)	交通量	[台/日]	21,800	12,100
		走行時間	[分]	3	2
		走行時間費用	[億円/年]	11.91	4.18
	(主)草津伊賀線 (11.6km)	交通量	[台/日]	13,500	12,300
		走行時間	[分]	27	26
		走行時間費用	[億円/年]	65.10	57.37
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (2.992.5km)	走行時間費用	[億円/年]	9,603.68	9,532.29	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,020.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9,769.46	9,694.57	74.88

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 交通状況の変化

様式－3①

## 事業名：水口道路（残事業）

（推計時点 H42年）

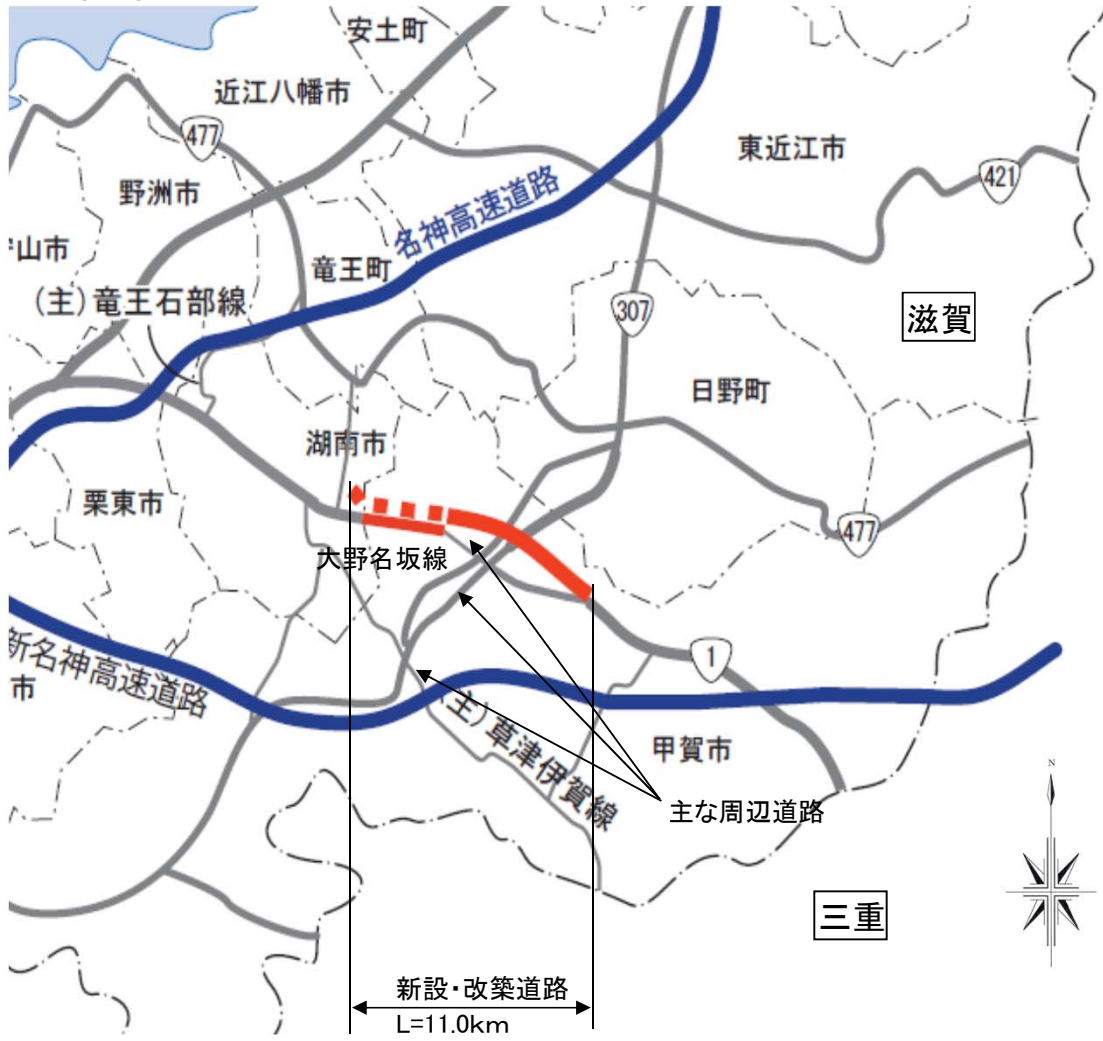
			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (1.7km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	21,100	27,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	6	3	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	21.61	13.54	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	(県)大野名坂線 (4.1km)	交通量	[台/日]	12,600	12,600
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	16.46	16.48
	一般国道307号 (1.2km)	交通量	[台/日]	12,000	12,100
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	4.15	4.18
	(主)草津伊賀線 (11.6km)	交通量	[台/日]	12,500	12,300
		走行時間	[分]	26	26
		走行時間費用	[億円/年]	58.43	57.37
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (3,001.8km)	走行時間費用	[億円/年]	9,610.29	9,602.99	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,020.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9,710.94	9,694.57	16.36

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。



(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 費用便益分析の条件

事業名：水口道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成28年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他( )			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				



# 費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道1号 水口道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.28	11	3.05

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-54年目	S 42	6.8333	36.6	0.01	0.17		
-53年目	S 43	6.5705	38.5	0.11	1.75		
-52年目	S 44	6.3178	40.8	0.08	1.16		
-51年目	S 45	6.0748	43.5	0.60	7.82		
-50年目	S 46	5.8412	45.6	2.25	26.89		
-49年目	S 47	5.6165	48.7	8.05	86.65		
-48年目	S 48	5.4005	56.1	3.66	32.90		
-47年目	S 49	5.1928	66.9	5.24	37.97		
-46年目	S 50	4.9931	70.7	6.95	45.79		
-45年目	S 51	4.8010	76.7	0.05	0.29		
-44年目	S 52	4.6164	81.3	0.35	1.85		
-43年目	S 53	4.4388	84.7	0.00	0.00		
-42年目	S 54	4.2681	86.9	0.00	0.00		
-41年目	S 55	4.1039	92.4	0.10	0.41		
-40年目	S 56	3.9461	94.8	0.60	2.33		
-39年目	S 57	3.7943	95.8	0.34	1.26		
-38年目	S 58	3.6484	96.8	0.00	0.00		
-37年目	S 59	3.5081	98.7	0.00	0.00		
-36年目	S 60	3.3731	99.5	0.00	0.00		
-35年目	S 61	3.2434	101.2	0.00	0.00		
-34年目	S 62	3.1187	101.0	0.00	0.00		
-33年目	S 63	2.9987	101.5	0.30	0.83		
-32年目	H 1	2.8834	104.2	0.34	0.88		
-31年目	H 2	2.7725	106.5	0.24	0.58		
-30年目	H 3	2.6658	109.1	1.19	2.71		
-29年目	H 4	2.5633	110.6	3.59	7.76		
-28年目	H 5	2.4647	110.9	8.88	18.41		
-27年目	H 6	2.3699	110.8	2.86	5.71		
-26年目	H 7	2.2788	109.9	18.98	36.72		
-25年目	H 8	2.1911	109.5	13.60	25.39		
-24年目	H 9	2.1068	110.4	16.86	30.02		
-23年目	H 10	2.0258	109.9	36.59	62.93		
-22年目	H 11	1.9479	108.4	28.00	46.94		
-21年目	H 12	1.8730	107.2	42.29	68.94		
-20年目	H 13	1.8009	105.7	20.20	32.11		
-19年目	H 14	1.7317	103.8	16.04	24.97		
-18年目	H 15	1.6651	102.3	9.57	14.53		
-17年目	H 16	1.6010	101.0	12.76	18.87		
-16年目	H 17	1.5395	99.6	13.28	19.15		
-15年目	H 18	1.4802	98.7	11.89	16.64		
-14年目	H 19	1.4233	97.6	8.22	11.18		
-13年目	H 20	1.3686	96.8	14.87	19.62		
-12年目	H 21	1.3159	95.6	9.29	11.93		
-11年目	H 22	1.2653	93.7	0.60	0.76		
-10年目	H 23	1.2167	92.1	6.46	7.96		
-9年目	H 24	1.1699	91.3	2.99	3.57		
-8年目	H 25	1.1249	91.1	15.19	17.50		
-7年目	H 26	1.0816	93.3	8.66	9.37		
-6年目	H 27	1.0400	93.3	7.76	8.07		
-5年目	H 28	1.0000	93.3	0.09	0.09		
-4年目	H 29	0.9615	93.3	0.93	0.89		
-3年目	H 30	0.9246	93.3	8.06	7.46		
-2年目	H 31	0.8890	93.3	8.07	7.18		
-1年目	H 32	0.8548	93.3	8.07	6.90		

供用開始年次	H	33	0.8219	93.3			2.82	2.32
1年目	H	34	0.7903	93.3			2.82	2.23
2年目	H	35	0.7599	93.3			2.82	2.15
3年目	H	36	0.7307	93.3			2.82	2.06
4年目	H	37	0.7026	93.3			2.82	1.98
5年目	H	38	0.6756	93.3			2.82	1.91
6年目	H	39	0.6496	93.3			2.82	1.83
7年目	H	40	0.6246	93.3			2.82	1.76
8年目	H	41	0.6006	93.3			2.82	1.70
9年目	H	42	0.5775	93.3			2.82	1.63
10年目	H	43	0.5553	93.3			2.82	1.57
11年目	H	44	0.5339	93.3			2.82	1.51
12年目	H	45	0.5134	93.3			2.82	1.45
13年目	H	46	0.4936	93.3			2.82	1.39
14年目	H	47	0.4746	93.3			2.82	1.34
15年目	H	48	0.4564	93.3			2.82	1.29
16年目	H	49	0.4388	93.3			2.82	1.24
17年目	H	50	0.4220	93.3			2.82	1.19
18年目	H	51	0.4057	93.3			2.82	1.15
19年目	H	52	0.3901	93.3			2.82	1.10
20年目	H	53	0.3751	93.3			2.82	1.06
21年目	H	54	0.3607	93.3			2.82	1.02
22年目	H	55	0.3468	93.3			2.82	0.98
23年目	H	56	0.3335	93.3			2.82	0.94
24年目	H	57	0.3207	93.3			2.82	0.91
25年目	H	58	0.3083	93.3			2.82	0.87
26年目	H	59	0.2965	93.3			2.82	0.84
27年目	H	60	0.2851	93.3			2.82	0.81
28年目	H	61	0.2741	93.3			2.82	0.77
29年目	H	62	0.2636	93.3			2.82	0.74
30年目	H	63	0.2534	93.3			2.82	0.72
31年目	H	64	0.2437	93.3			2.82	0.69
32年目	H	65	0.2343	93.3			2.82	0.66
33年目	H	66	0.2253	93.3			2.82	0.64
34年目	H	67	0.2166	93.3			2.82	0.61
35年目	H	68	0.2083	93.3			2.82	0.59
36年目	H	69	0.2003	93.3			2.82	0.57
37年目	H	70	0.1926	93.3			2.82	0.54
38年目	H	71	0.1852	93.3			2.82	0.52
39年目	H	72	0.1780	93.3			2.82	0.50
40年目	H	73	0.1712	93.3			2.82	0.48
41年目	H	74	0.1646	93.3			2.82	0.46
42年目	H	75	0.1583	93.3			2.82	0.45
43年目	H	76	0.1522	93.3			2.82	0.43
44年目	H	77	0.1463	93.3			2.82	0.41
45年目	H	78	0.1407	93.3			2.82	0.40
46年目	H	79	0.1353	93.3			2.82	0.38
47年目	H	80	0.1301	93.3			2.82	0.37
48年目	H	81	0.1251	93.3			2.82	0.35
49年目	H	82	0.1203	93.3	-93.55	-11.25	2.82	0.34
合計					291.57	782.56	141.20	51.85
単純事業費計					385.12		141.20	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道1号 水口道路

維持管理費の単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	単価(億円)
				0.71	1.7		1.20
-4年目	H 29	0.9615	93.3	0.93	0.89		
-3年目	H 30	0.9246	93.3	8.06	7.46		
-2年目	H 31	0.8890	93.3	8.07	7.18		
-1年目	H 32	0.8548	93.3	8.07	6.90		
供用開始年次	H 33	0.8219	93.3			1.11	0.91
1年目	H 34	0.7903	93.3			1.11	0.88
2年目	H 35	0.7599	93.3			1.11	0.84
3年目	H 36	0.7307	93.3			1.11	0.81
4年目	H 37	0.7026	93.3			1.11	0.78
5年目	H 38	0.6756	93.3			1.11	0.75
6年目	H 39	0.6496	93.3			1.11	0.72
7年目	H 40	0.6246	93.3			1.11	0.69
8年目	H 41	0.6006	93.3			1.11	0.67
9年目	H 42	0.5775	93.3			1.11	0.64
10年目	H 43	0.5553	93.3			1.11	0.62
11年目	H 44	0.5339	93.3			1.11	0.59
12年目	H 45	0.5134	93.3			1.11	0.57
13年目	H 46	0.4936	93.3			1.11	0.55
14年目	H 47	0.4746	93.3			1.11	0.53
15年目	H 48	0.4564	93.3			1.11	0.51
16年目	H 49	0.4388	93.3			1.11	0.49
17年目	H 50	0.4220	93.3			1.11	0.47
18年目	H 51	0.4057	93.3			1.11	0.45
19年目	H 52	0.3901	93.3			1.11	0.43
20年目	H 53	0.3751	93.3			1.11	0.42
21年目	H 54	0.3607	93.3			1.11	0.40
22年目	H 55	0.3468	93.3			1.11	0.39
23年目	H 56	0.3335	93.3			1.11	0.37
24年目	H 57	0.3207	93.3			1.11	0.36
25年目	H 58	0.3083	93.3			1.11	0.34
26年目	H 59	0.2965	93.3			1.11	0.33
27年目	H 60	0.2851	93.3			1.11	0.32
28年目	H 61	0.2741	93.3			1.11	0.30
29年目	H 62	0.2636	93.3			1.11	0.29
30年目	H 63	0.2534	93.3			1.11	0.28
31年目	H 64	0.2437	93.3			1.11	0.27
32年目	H 65	0.2343	93.3			1.11	0.26
33年目	H 66	0.2253	93.3			1.11	0.25
34年目	H 67	0.2166	93.3			1.11	0.24
35年目	H 68	0.2083	93.3			1.11	0.23
36年目	H 69	0.2003	93.3			1.11	0.22
37年目	H 70	0.1926	93.3			1.11	0.21
38年目	H 71	0.1852	93.3			1.11	0.21
39年目	H 72	0.1780	93.3			1.11	0.20
40年目	H 73	0.1712	93.3			1.11	0.19
41年目	H 74	0.1646	93.3			1.11	0.18
42年目	H 75	0.1583	93.3			1.11	0.18
43年目	H 76	0.1522	93.3			1.11	0.17
44年目	H 77	0.1463	93.3			1.11	0.16
45年目	H 78	0.1407	93.3			1.11	0.16
46年目	H 79	0.1353	93.3			1.11	0.15
47年目	H 80	0.1301	93.3			1.11	0.14
48年目	H 81	0.1251	93.3			1.11	0.14
49年目	H 82	0.1203	93.3	0.00	0.00	1.11	0.13
合計				25.14	22.43	55.56	20.39
単純事業費計				25.14		55.56	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





## 便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道1号 水口道路

年次	年度 (基準年) H 28	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99899	0.99548	1.01547	1.00136	0.8219	93.3	8.99	1.89	4.95	15.83	12.54	0.46	0.06	0.55	1.08	0.85	0.26	0.21	17.17	13.60
1年目	H 34	0.99899	0.99546	1.01523	1.00136	0.7903	93.3	8.98	1.88	5.03	15.89	12.11	0.46	0.06	0.56	1.08	0.83	0.26	0.20	17.24	13.13
2年目	H 35	0.99898	0.99544	1.01501	1.00136	0.7599	93.3	8.97	1.88	5.11	15.95	11.68	0.46	0.06	0.57	1.09	0.80	0.26	0.19	17.30	12.67
3年目	H 36	0.99898	0.99542	1.01478	1.00135	0.7307	93.3	8.96	1.87	5.18	16.01	11.28	0.46	0.06	0.58	1.10	0.77	0.26	0.18	17.37	12.23
4年目	H 37	0.99898	0.99540	1.01457	1.00135	0.7026	93.3	8.95	1.86	5.26	16.07	10.88	0.46	0.06	0.59	1.11	0.75	0.26	0.18	17.44	11.81
5年目	H 38	0.99898	0.99538	1.01436	1.00135	0.6756	93.3	8.94	1.85	5.34	16.13	10.50	0.46	0.06	0.59	1.11	0.73	0.26	0.17	17.51	11.40
6年目	H 39	0.99898	0.99536	1.01416	1.00135	0.6496	93.3	8.93	1.84	5.41	16.19	10.13	0.46	0.06	0.60	1.12	0.70	0.26	0.16	17.57	11.00
7年目	H 40	0.99898	0.99533	1.01396	1.00135	0.6246	93.3	8.92	1.83	5.49	16.25	9.78	0.46	0.06	0.61	1.13	0.68	0.26	0.16	17.64	10.62
8年目	H 41	0.99898	0.99531	1.01377	1.00135	0.6006	93.3	8.91	1.82	5.57	16.30	9.44	0.46	0.06	0.62	1.14	0.66	0.26	0.15	17.71	10.25
9年目	H 42	0.99147	0.99369	1.00195	0.99395	0.5775	93.3	8.90	1.82	5.64	16.36	9.11	0.46	0.06	0.63	1.15	0.64	0.26	0.15	17.77	9.89
10年目	H 43	0.99140	0.99365	1.00195	0.99391	0.5553	93.3	8.83	1.80	5.65	16.29	8.72	0.45	0.06	0.63	1.14	0.61	0.26	0.14	17.69	9.47
11年目	H 44	0.99132	0.99361	1.00195	0.99387	0.5339	93.3	8.75	1.79	5.67	16.21	8.34	0.45	0.06	0.63	1.14	0.59	0.26	0.13	17.61	9.06
12年目	H 45	0.99125	0.99357	1.00194	0.99384	0.5134	93.3	8.68	1.78	5.68	16.13	7.98	0.45	0.06	0.63	1.14	0.56	0.26	0.13	17.53	8.67
13年目	H 46	0.99117	0.99353	1.00194	0.99380	0.4936	93.3	8.60	1.77	5.69	16.06	7.64	0.44	0.06	0.63	1.13	0.54	0.26	0.12	17.45	8.30
14年目	H 47	0.99109	0.99348	1.00194	0.99376	0.4746	93.3	8.52	1.76	5.70	15.98	7.31	0.44	0.06	0.63	1.13	0.52	0.26	0.12	17.37	7.95
15年目	H 48	0.99101	0.99344	1.00193	0.99372	0.4564	93.3	8.45	1.75	5.71	15.91	7.00	0.43	0.06	0.64	1.13	0.50	0.25	0.11	17.29	7.60
16年目	H 49	0.99093	0.99340	1.00193	0.99368	0.4388	93.3	8.37	1.74	5.72	15.83	6.69	0.43	0.06	0.64	1.12	0.48	0.25	0.11	17.21	7.28
17年目	H 50	0.99085	0.99335	1.00192	0.99364	0.4220	93.3	8.30	1.72	5.73	15.75	6.41	0.43	0.06	0.64	1.12	0.46	0.25	0.10	17.13	6.97
18年目	H 51	0.99076	0.99331	1.00192	0.99360	0.4057	93.3	8.22	1.71	5.74	15.68	6.13	0.42	0.06	0.64	1.12	0.44	0.25	0.10	17.04	6.66
19年目	H 52	0.99068	0.99327	1.00192	0.99356	0.3901	93.3	8.14	1.70	5.75	15.60	5.87	0.42	0.06	0.64	1.12	0.42	0.25	0.09	16.96	6.38
20年目	H 53	0.99059	0.99322	1.00191	0.99352	0.3751	93.3	8.07	1.69	5.77	15.52	5.61	0.42	0.06	0.64	1.11	0.40	0.25	0.09	16.88	6.10
21年目	H 54	0.99050	0.99317	1.00191	0.99347	0.3607	93.3	7.99	1.68	5.78	15.45	5.37	0.41	0.05	0.64	1.11	0.39	0.25	0.09	16.80	5.84
22年目	H 55	0.99041	0.99313	1.00191	0.99343	0.3468	93.3	7.92	1.67	5.79	15.37	5.14	0.41	0.05	0.64	1.11	0.37	0.24	0.08	16.72	5.59
23年目	H 56	0.99032	0.99308	1.00190	0.99339	0.3335	93.3	7.84	1.66	5.80	15.29	4.92	0.40	0.05	0.65	1.10	0.35	0.24	0.08	16.64	5.35
24年目	H 57	0.99022	0.99303	1.00190	0.99334	0.3207	93.3	7.77	1.64	5.81	15.22	4.70	0.40	0.05	0.65	1.10	0.34	0.24	0.07	16.56	5.12
25年目	H 58	0.99013	0.99298	1.00189	0.99330	0.3083	93.3	7.69	1.63	5.82	15.14	4.50	0.40	0.05	0.65	1.10	0.33	0.24	0.07	16.48	4.90
26年目	H 59	0.99003	0.99293	1.00189	0.99325	0.2965	93.3	7.61	1.62	5.83	15.07	4.31	0.39	0.05	0.65	1.09	0.31	0.24	0.07	16.40	4.69
27年目	H 60	0.98993	0.99288	1.00189	0.99321	0.2851	93.3	7.54	1.61	5.84	14.99	4.12	0.39	0.05	0.65	1.09	0.30	0.24	0.06	16.32	4.48
28年目	H 61	0.98982	0.99283	1.00188	0.99316	0.2741	93.3	7.46	1.60	5.85	14.91	3.94	0.38	0.05	0.65	1.09	0.29	0.23	0.06	16.23	4.29
29年目	H 62	0.98972	0.99278	1.00188	0.99311	0.2636	93.3	7.39	1.59	5.86	14.84	3.77	0.38	0.05	0.65	1.08	0.28	0.23	0.06	16.15	4.10
30年目	H 63	0.98961	0.99273	1.00188	0.99307	0.2534	93.3	7.31	1.57	5.88	14.76	3.60	0.38	0.05	0.65	1.08	0.26	0.23	0.06	16.07	3.93
31年目	H 64	0.98950	0.99267	1.00187	0.99302	0.2437	93.3	7.23	1.56	5.89	14.68	3.45	0.37	0.05	0.66	1.08	0.25	0.23	0.05	15.99	3.76
32年目	H 65	0.98939	0.99262	1.00187	0.99297	0.2343	93.3	7.16	1.55	5.90	14.61	3.30	0.37	0.05	0.66	1.08	0.24	0.23	0.05	15.91	3.59
33年目	H 66	0.98928	0.99256	1.00187	0.99292	0.2253	93.3	7.08	1.54	5.91	14.53	3.16	0.36	0.05	0.66	1.07	0.23	0.23	0.05	15.83	3.44
34年目	H 67	0.98916	0.99251	1.00186	0.99287	0.2166	93.3	7.01	1.53	5.92	14.45	3.02	0.36	0.05	0.66	1.07	0.22	0.22	0.05	15.75	3.29
35年目	H 68	0.98904	0.99245	1.00186	0.99282	0.2083	93.3	6.93	1.52	5.93	14.38	2.89	0.36	0.05	0.66	1.07	0.21	0.22	0.04	15.67	3.15
36年目	H 69	0.98892	0.99239	1.00186	0.99277	0.2003	93.3	6.85	1.51	5.94	14.30	2.76	0.35	0.05	0.66	1.06	0.21	0.22	0.04	15.59	3.01
37年目	H 70	0.98880	0.99234	1.00185	0.99271	0.1926	93.3	6.78	1.49	5.95	14.23	2.64	0.35	0.05	0.66	1.06	0.20	0.22	0.04	15.51	2.88
38年目	H 71	0.98867	0.99228	1.00185	0.99266	0.1852	93.3	6.70	1.48	5.96	14.15	2.53	0.35	0.05	0.66	1.06	0.19	0.22	0.04	15.42	2.75
39年目	H 72	0.98854	0.99222	1.00185	0.99260	0.1780	93.3	6.63	1.47	5.97	14.07	2.41	0.34	0.05	0.66	1.05	0.18	0.22	0.04	15.34	2.63
40年目	H 73	0.98841	0.99216	1.00184	0.99255	0.1712	93.3	6.55	1.46	5.99	14.00	2.31	0.34	0.05	0.67	1.05	0.17	0.21	0.04	15.26	2.52
41年目	H 74	0.98827	0.99209	1.00184	0.99249	0.1646	93.3	6.47	1.45	6.00	13.92	2.21	0.33	0.05	0.67	1.05	0.17	0.21	0.03	15.18	2.41
42年目	H 75	0.98813	0.99203	1.00184	0.99244	0.1583	93.3	6.40	1.44	6.01	13.84	2.11	0.33	0.05	0.67	1.04	0.16	0.21	0.03	15.10	2.30
43年目	H 76	0.98799	0.99197	1.00183	0.99238	0.1522	93.3	6.32	1.43	6.02	13.77	2.02	0.33	0.05	0.67	1.04	0.15	0.21	0.03	15.02	2.20
44年目	H 77	0.98785	0.99190	1.00183	0.99232	0.1463	93.3	6.25	1.41	6.03	13.69	1.93	0.32	0.05	0.67	1.04	0.15	0.21	0.03	14.94	2.11
45年目	H 78	0.98770	0.99184	1.00183	0.99226	0.1407	93.3	6.17	1.40	6.04	13.61	1.85	0.32	0.05	0.67	1.04	0.14	0.21	0.03	14.86	2.01
46年目	H 79	0.98754	0.99177	1.00182	0.99220	0.1353	93.3	6.10	1.39	6.05	13.54	1.77	0.31	0.05	0.67	1.03	0.13	0.21	0.03	14.78	1.93
47年目	H 80	0.98739	0.99170	1.00182	0.99214	0.1301	93.3	6.02	1.38	6.06	13.46	1.69	0.31	0.05	0.67	1.03	0.13	0.20	0.03	14.70	1.84
48年目	H 81	0.98723	0.99163	1.00182	0.99208	0.1251	93.3	5.94	1.37	6.07	13.39	1.61	0.31	0.04	0.68	1.03	0.12	0.20	0.02	14.61	1.76
49年目	H 82	0.98706	0.99156	1.00181	0.99201	0.1203	93.3	5.87	1.36	6.08	13.31	1.54	0.30	0.04	0.68	1.02	0.12	0.20	0.02	14.53	1.69
合計								383.37	81.77	287.78	752.92	274.71	19.74	2.67	32.02	54.43	19.51	11.90	4.40	819.24	298.61

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	水口道路	4	11.0km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				20,122	
	改良費				11,320	
		土工	m <sup>3</sup>	1,102,903	5,631	切土(444,203m <sup>3</sup> )、盛土(565,942m <sup>3</sup> )、捨土(92,758m <sup>3</sup> )等
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	316,885	1,014	路床安定処理
		法面工	m <sup>2</sup>	355,115	391	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,968	重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	m	605	2,316	横断函渠(4)等
	橋梁費			898	5,177	
		100m以上	m	759	4,376	連続高架橋3橋
		100m未満	m	139	801	PC橋3橋、鋼橋1橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費			268,794	2,856	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	219,894	2,563	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	48,900	293	
	付帯施設費				769	
		交通管理施設工	式	1	769	標識、防護柵、道路照明等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				15,701	
	用地費		m <sup>2</sup>	336,100	9,355	
		宅地	m <sup>2</sup>			
		田畑	m <sup>2</sup>			
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	6,346	
③	間接経費		式	1	4,177	地質調査、測量、設計に係る費用等
	全体事業費				40,000	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	水口道路	4	11.0km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				2,424	
	改良費					
		土工	m <sup>3</sup>			
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>			
		擁壁工	式			
		函渠工	m			
	橋梁費			898	2,246	
		100m以上	m	759	1,898	連続高架橋3橋
		100m未満	m	139	348	PC橋3橋、鋼橋1橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費			16,208	178	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	14,216	166	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	1,992	12	
	付帯施設費					
		交通管理施設工	式			
		遮音壁	m			
②	用地及補償費					
	用地費		m <sup>2</sup>			
		宅地	m <sup>2</sup>			
		田畑	m <sup>2</sup>			
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	301	地質調査、測量、設計に係る費用等
	全体残事業費				2,725	

#### 【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	水口道路	4	11.0km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	11.0	1,950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	13,300	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			15,250	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

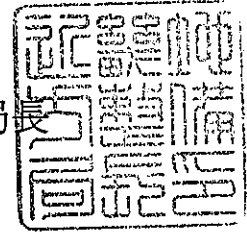


国近整企画175号

平成 28年12月22日

滋賀県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対する御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成29年1月26日(木)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成29年1月18日(水)までに、別紙について貴職の御意見を承りたく依頼いたします。

※御意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道1号水口道路	事業継続	

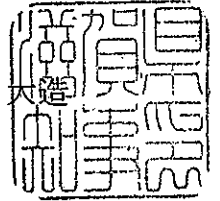
※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。



滋高幹 第 1 号  
平成 29 年(2017 年)1 月 16 日

国土交通省  
近畿地方整備局長 様

滋賀県知事 三日月



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案) の作成に係る意見照会について (回答)

平成 28 年 12 月 22 日付け国近整企画 175 号で照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

一般国道 1 号水口道路については、対応方針(原案)(案)で【事業継続】とされているとおり、事業効果の早期発現に向けてさらなる整備促進をお願いしたい。

地元も交通混雑、交通事故等の課題解消のため、当該事業の早期完成を強く望んでおり、一層の事業推進にあたって必要な予算の確保と徹底したコスト縮減に取り組んでいただきたい。

なお、滋賀県としても事業促進に最大限の努力をしております。